

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 7 年 10 月 24 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 森山（清）組
所 在 地	〒890-0081 鹿児島県鹿児島市唐湊一丁目13番25号
代表者役職・氏名	代表取締役 森山 崇
担当者連絡先	電話：099-252-1313 メール： y.todaka@moriyamasei.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.moriyamasei.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

大正 10 年(1921 年)に創業し、令和 3 年に創業 100 周年を迎えた総合建設会社です。港湾関連事業では、当社が建造・保有する起重機船を活用し、鹿児島県内一円で各種港湾工事を請け負っています。また、平成 22 年より鹿児島県より「みんなの港サポーター」として認定を受け、離島を含む 6 箇所の県管理港湾において、定期的な清掃活動を継続して実施しています。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	次世代自動車を導入し、CO ₂ 排出量の削減に取り組みます。	【現状】2 台 【2030 年目標】5 台
□環境 ✓社会 ✓経済	女性が男性と同じように活躍できる雇用環境を整備します。	女性従業員割合 【現状】10% 【2030 年目標】13%
□環境 □社会 ✓経済	定期的に BCP の見直しを行い、業務改善や事業継続戦略の見直しに繋げます。	【現状】見直しをしていない 【2030 年目標】年 1 回の見直し

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・障害者雇用推進者、高年齢者雇用等推進者の任命 ・技能実習の責任者講習、指導員講習の受講					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則に規程を整備し監督署へ届出済み					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・鹿児島県働き方改革推進企業の認定 ・週1回ノー残業デーの導入 ・有給休暇取得の促進								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・生活指導員講習受講者による適切な管理				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・IOS45001の認証・取得		3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・全従業員へのストレスチェックの実施 ・産業医と連携した相談体制の整備		3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・令和7年10月現在、3名の障がい者の雇用 ・【予定】女性従業員割合の増加を目指す			5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・公的資格の取得支援 ・年次に応じた適切な研修・講習を計画的に受講させる			4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している				5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・40歳以上の従業員に対する人間ドックを費用負担にて実施		3					8									
	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・社内で発生する廃棄物の分別の徹底 ・ペーパーレス化による印刷・保管コストの削減											11.6	12.4 12.5		14.1		
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・本社照明のLED化 ・電力等のエネルギー使用量の管理						7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・【予定】次世代自動車を導入し、CO ₂ 排出量の削減に取り組む					7.2 7.3						12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・公害防止管理者による適切な使用管理 ※屋久島プラント		3.9		6.3					11.6	12.4						

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・オイルフェンス・汚濁防止フェンス等の使用							6.6								15	
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・本社の事業用水は地下水を利用 ・メーターで量水を管理し、年一回鹿児島市へ報告						6.4 6.6										
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証・取得		3.9			6	7						12	13.3	14	15	
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・建設新聞、自社ホームページ等を通じてボランティア活動の実施報告と情報の開示												12.6				
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001の認証・取得		3.9										12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001の認証・取得 ・品質向上に向け、資格取得や講習会への積極的な受講								9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・現場での標識やカラーボーンについてソーラー式工事灯を利用				6								12	13	14	15	
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・年一回、地下水貯水槽の清掃と水質検査の実施 ・揚水ポンプ、モーターの定期メンテナンス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・県内の離島を含む港湾・漁港の清掃活動 ・企業版ふるさと納税、催事への寄付			4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している								8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・自社ホームページにてSDGsへの取り組みの公開								8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・注文書・請書約款に反社会勢力排除についての条項を記載																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・ISO室による組織的な管理の実施																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・地元説明会、工事案内チラシの配布により工事の必要性や理解を得るための活動を実施															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISOにおいてリスクの特定・評価の実施																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・出前授業、インターンシップ受け入れを通じ建設業の果たす役割を伝える場を設ける																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・BCPの策定 ・【予定】定期的なBCPの見直しの実施								9	11	13.1						16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。